

こだわり学 コメント返し④

前回に引き続き、コメントや質問を返していきます。

マイプロジェクトに決まった正解はないので、今回のコメントの 100%を参考にする必要はありませんし、必ずしも全ての質問に応える必要はありません。自分がマイプロジェクトとしてつなげられそうなものはないかな？ と思いながら読んでみてください。

- ・数回に分けてコメントを返していきます。
- ・ニックネームが実名と同じ場合、イニシャルに変更しています。
- ・教員ごとにコメントに色分けをしています。

【5組】

【K・K さん】

まだまだ始まったばかりです。心配しなくて大丈夫ですよ。他人との勝負ではないので、自分の本当にやりたい内容を少しずつ進めていきましょう！肌荒や腸内環境と書いてありましたが、どうやってチェックしますか？このテーマでいうと、今の高校生の悩みって何でしょうか？どんなことに悩み、どんな対策をしているのか、アンケートで聞いてみても面白いかもしれませんね。

こだわり学とは、簡単に言うと自分自身が興味関心のあることをこだわりを持ってどんどん追究していくことです。問いに対して、答えを探すことを繰り返しどんどん究めていくのです。深く考えすぎず、まずはやれることに取り組んでいくことが大事です。スクリーンタイムを減らす。これは現代人にとって大きな問題ですね。減らすとありますが、どのくらい減ったら良いでしょうか？このテーマについて、どんな社会問題があるのでしょうか？調べてみてください。

(健康)

健康な体を作ることをマイプロとして取り組んでもよいと思います。ただ、健康という言葉は漠然としているので、挙げてくれた「食事」「運動」「睡眠」など、取り組む範囲を絞って、内容を考えてもいいかもしれません。自分がどのくらい健康になったか、どうやって確かめましょうか？

(スクリーンタイム)

つついスマホを見てしまうことに、多くの人が悩んでいると思います。解決策を提案できれば、多くの人の役に立つと思います。スマホを見ないようにする工夫としては、どんなものが考えられるでしょうか？

健康

健康な体を作るために、規則正しい生活や間食をしすぎないことは非常に重要です。でも、大切だとわかっているのに、つつい夜更かしをしてしまったり、お菓子を食べすぎてしまったりすることがあるのはなぜなのでしょう。理解していることと実践できることの間にはギャップができてしまう理由に目を向けてみると解決すべき課題がより明確になるかもしれませんね。

スクリーンタイム

携帯が気になって勉強に集中できないというケースがあれば、勉強に集中できなくて携帯をさわってしまうというケースもあると思うのですが、それら二つを解決するためには同じ方法でよいのだろうかということをふと考えました。また、携帯を勉強に利用することはできないでしょうか。携帯と勉強の関係を色々な角度から考えてみてください。

【あ さん】

日常生活で取り組んでいるものとは別に、好きなもの（興味関心のあるものや趣味など）で考えて見ても良いかもしれません。規則正しい生活をテーマとするなら早い時間（けど、何時が早い？）に寝ることやその他に解決したいことはありますか？また、その解決策は誰にとって有効でしょうか？これと同じテーマを抱えている人は世間にたくさんいそうですが、どんなことを考え、どんなことを試みているのでしょうか？探ってみてください。

必ずしも日常生活で意欲的に取り組んでいることでなくてもよいですよ。何かしら自分が興味を持てることであれば、取り組む時に、それをやる意味を感じやすいかなと思います。もちろん、規則正しい生活に焦点を当てたマイプロジェクトを考えても良いですし、他の事でも構いません。身の回りに、もっとこうなればいいなというものがありますか？

今まで遅い時間に寝ることが多かったということですが、その原因はなんでしたか？その原因を解消するために具体的にどのようなことが必要でしょうか。特に、自分で解決することができる部分がどこかということに注目してみてください。また、寝る直前だけでなく生活全体を見つめなおしてみるとなにか気づくことがあるかもしれませんね。

【N さん】

城南菱創のキャラクター！いいですね。実は自分も考えたこともあるのですが、制作まで至っていません。南陽は熊ですよ～。学校説明会とかで使えそうです。キャラクターというアイデアはなぜ考えついたのでしょうか？それをつくることでもっとこうなったら良いと思うことはありますか？また、キャラクターの持つ意味って何なんのでしょうか？例えば、ディズニーランドや USJ におけるキャラクターの役割、重要性ってどのくらいあるのでしょうか？どうやったら魅力的なキャラクターが作れるかを考えることは、将来、商品開発などにつながる面白いテーマかもしれませんよ！



←違った取り組みですが、ご参考まで

城南菱創高校のキャラクターをつくるには、城南菱創のことをよく知る必要がありますね！学校が始まったら、城南菱創の特徴を自分で体験しながらつかんでいってください。学校 HP の RYOSO BLOG もよろしくお願ひしますね。イメージキャラクターといえば、僕は地方のゆるキャラを連想します。なんのためにゆるキャラはつくられているのでしょうか？人気のゆるキャラにはどのような特徴があるのでしょうか？

この前の課題のときにもらったコメントと重なる部分がありますが、何を目的としてキャラクターを作りますか？それによって見えてくる特徴も変わってくるかもしれませんよ。また、その特徴をキャラク

ターとして表現するにはどのような工夫が必要になるのでしょうか。例えば、「仲のよい雰囲気」をキャラクターとして表すにはどのような色や形が適しているのでしょうか。

【M・T さん】

質問を受けてしっかり次を考えられていますね。頭が良いとは知識があることでしょうか？良い点数や成績残せる人でしょうか？この課題やコロナのように答えがない事柄に取り組める力でしょうか？想像力でしょうか？勉強法で進めていくのなら、その結果みんなのレベルがあがり、城南菱創がさらに発展することにつながるかもしれません。まわりの競争があがれば、自分自身が悩むことになるかもしれませんね。笑

「頭がいいと大まかにくくるんじゃなくてきちんと具体的にすべき」←よい気づきだと思います。まずは自分が思う頭のいい人の特徴を思いつく限りたくさん書き出してみるのはどうでしょうか？書き出した要素の中で特に大事だと思うものを探したり、似たようなもの同士で集めて分類したりすると、自分の頭の中が整理できますよ。

勉強法にも興味があるようですね。どんな力をつける勉強の方法なのか、その勉強で身についた力はどうにして測ることができるのか、考えてみてもいいかもしれませんね。学力や頭の良さってなんなんでしょう？

どのような問題を解決することを目指すのかによって重要視される能力が違ってくると思うので、まずは解決すべきだと思う問題をいくつか挙げてみるとよいかもしれません。その問題に関して、優れた能力をもつ人たちにどのような共通点があるかということ整理してみてもどうでしょうか。

【めい さん】

誰にどんな価値をもたらすのか、しっかり読んで大事なことを考えられています。フィンランド人の幸せと日本人の幸せは同じでしょうか？何か違う点はあるのでしょうか？もし違うなら1位の幸せを日本にもつなげられるものはないのでしょうか？それを調べることで、自分の幸せについて考えたり、他人に何かを考えさせる。そのことはなにげなく日常生活をおくっている私たちに何かしらの価値（それは考えましょう。笑）をもたらすのではないかと感じました。

ある調査によると、ブータン共和国は世界一幸福度が高い国で、国民の97パーセントが自分は幸せだと思っているそうです。ここでいう「幸せ」はGNHという指標で示されるそうです。GNHとはどんなものなのでしょう？幸せの度合いを数値化して比較することは可能なのでしょうか？探ってみてください。フィンランドの「幸せ」を考える上でヒントになるかもしれませんね。ちなみに、僕はムーミンキャラではニョロニョロが好きです。

自分が幸せな状態をイメージして、そのために絶対になければならないものやあるといいなと思うこと

などを整理してみると、幸せについてより具体的に考えることにつながるのではないかと思います。テーマをもう少し明確化してからフィンランドと日本の違いについて調べてみると、新しい気づきがあるかもしれませんね。

【N・T さん】

面白いテーマです！僕自身、カラフルなグッズも好きなのですが、無印良品が好きでその家（無印にはいろんな種類の家があるんですよ、知ってましたか？）を建てたいという夢もっています。一度自分なりの答えがでてきても OK です。その答えの中に、必ず次の問いがあるはずですよ。そして、その問いに答えていく。それが「こだわり学」です。このテーマを応用すれば、学校内はもちろん、社会がより良くなるかもしれませんよ！

日本では虹の色は7色ですが、国によっては、5色だったり、2色だったりするそうです。色の見え方が違えば、色の感じ方も違ってきたりするのでしょうか。色を使って人の心情をコントロールできると、より良い暮らしにつながりそうですね。勉強ができるようになる色とかあったらいいですね。自分ではじめに立てた問いが解決できたとしても、それまでの過程できっと新しい疑問や問題を見つけていると思います。とことん追求していこう！

自分が住んでいる家の中で、色を変えたいなと思うところはありますか？もしあったら、その色を変えたいと思う理由や何色に変えたいと思うかということを考えてみたり、同様のことを学校の中で考えてみたり、友達に聞いてみたりすると新しい気づきがあるかもしれませんね。色と心情の変化に関する研究の中で何が明らかになっているか、何が明らかになっていないかということ情報も参考になりそうですね。

【6組】

【なな さん】

効率が良いとはどういうことでしょうか？そこがはっきりしていないため、話を広げるのが難しいと感じているのではないのでしょうか？その答えに関する言葉を書き出し尽くしてください（ブレインストーミング）。例えば、その中で重要だと思われるキーワードを3つを使って話を広げてみましょう。もっとこうなれば良いと思うことは何でしょうか？また、どうやってアクションし、分析できるのでしょうか？

効率の良い勉強のしかたは、確かに気になる所ところですね。効率がよくなってどういうことでしょうか？普段何気なく使っている言葉でも、きちんと定義するのは難しかったりします。「効率の良さ」を具体的に表現できると、次にどんな方法で取り組み、検証することができるかを考えることができるかもしれ

ませんね。

自分の勉強について、効率よくできていないと感じることは具体的にどんなことでしょうか。例えば、どの教科の勉強をしているときに、特に効率の良さを意識するのかということなどを考えてみて、効率の良さというものをより明確にしていくと、そのために何が必要かということを考えやすくなると思いますよ。

【H・O さん】

ポイ捨てが減らないのはなぜでしょうか？良くないと感じている人がいるにも関わらず、です。また、どうすれば減るのでしょうか？ポイ捨てを拾うことでポイ捨ては減るのでしょうか？高校生の自分たちができることを考え、そしてその方法を周りの人に発信して協力してもらうことをゴールにすることも可能ですね。今、ゴミを減らすために現在行われていることはどんなことでしょうか？ここは思い切って、シンガポールのように罰金制度にすべきなのではないでしょうか。



←ご参考まで

実際に自分がゴミを拾うというのは、ひとつの解決策を提示してくれていて、良いと思います。ぜひ、取り組んでみてください。学校でも、定期的にボランティア部が学校周辺のゴミ拾いをしてくれますが、中々ポイ捨ては無くなりません。少人数でのゴミ拾いにも意味はあると思いますが、ポイ捨てをなくすにはもっとたくさんの人を巻き込む必要があるのかもしれないですね。何か良いアイデアはないか、考えてみてください。実際にゴミを拾っているときに、もっとこうだったらいいのになという気づきがあるかもしれませんね。

具体的に考えるということを重視して課題に取り組んでいることがよく伝わってきます。ポイ捨てが多発する地域とそうでない地域はどのような違いがあるのか、ということなどを考えてみると新しい気づきを得られるかもしれません。また、ポイ捨てがされた後だけでなく、ポイ捨てを未然に防ぐ手立てなどについても考えてみると、色々な視点からポイ捨てを減らす取り組みを考えることにつながるのではないのでしょうか。

【み さん】

流行、いいですね。流行ってどうやって始まるのでしょうか？流行の源は何でしょうか？範囲が広いので、自分自身が今一番関心ある話題は何か。解決したい物事やもっとこうなればいいのと思うものはありますか？まずは、流行から思いつくキーワードをたくさん書いて、もう出てこないというところま

でやってみてください。そして、その中から3つ、自分の身近で取り組みやすそうなものをあげて考えてみましょう。

多くの人が流行にのるのはなぜなのでしょう？流行の理由がわかると、自分の力で流行するものをコントロールできたりするのかな？とふと思いました。「流行が若者の間で当たり前になっている」とのことですが、世代や性別によっても流行るものややり方に違いがあるかもしれませんね。

今何が流行っているのか、それがどのような人の間で流行っているのか、また、流行っていると思われているものが本当に流行っているのか、そもそも流行とは何なのかなど色々な視点から考えて、知りたいことをより明確化すると、それに対する取り組みも考えやすくなるかもしれませんよ。

【ほくそん さん】

筋トレをするということですが、何か目標はありますか？どこの筋肉を鍛えますか？筋肉が付きやすい方法（場所、時間、回数、食事など）は何でしょうか？など、いくつかあげてみて、筋トレについて、何に挑戦するのかより具体的に考えてみてください。人はなぜ筋トレをするのでしょうか？何か現代のトレーニングについて課題はありますか？など、自分自身の興味関心やその他の人々の必要性を組み合わせ考えてみましょう。

運動不足を解消することは、今の情勢では多くの人が課題に考えていると思います。中には筋トレはきついから続かないという人もいますが、どんな運動なら多くの人が楽しく継続的に取り組めるのでしょうか？

筋トレにもいろいろな種類がありますが、どの方法でどの部位を何のために鍛えましょう？どうせやるなら、部活や日常生活に役立つトレーニングをしたいですね。

筋トレを続けていくために大切なことや必要なことって何なのでしょう？筋トレを始めようと決意した人がすぐに挫折しないようにするためには、どのようなトレーニングの仕方をすればよいのでしょうか。また、トレーニングを続けていくためには、トレーニングする人の精神状態も重要なのではないかと思います。トレーニングの内容やモチベーションなど、色々な角度から筋トレについて考えてみてください。

【Y・K さん】

音楽はライブによって復活したのですか、知らなかったです。勉強になりました。個人的なイメージはダウンロードができるようになったのが、大きな要因の1つだと思っていました。先日米津さんがそれで受賞していましたよね。ライブや音楽配信などいろいろな媒介を通して私たちは音楽を楽しんでいます。大打撃を受けないために、これからの with コロナ時代はどのような手段が生き残るのか考えてみることは、すごく大事なことですよね。このような時代で音楽にどんな新しい価値がうまれるのでしょうか？

また、自分自身ができることは何なのでしょう？



←ご参考まで

コロナの影響で、ライブハウスだけでなく、映画館も打撃を受けているのだとか。音楽作品や映像作品を家で楽しむには CD や DVD、ネット配信を思い浮かべますが、最近は後者が増えてきたように思います。ライブに力を入れていた音楽業界を盛り上げる新しいビジネスモデルは、もしかしたら、映画産業も救うことができる可能性も秘めているかもしれませんね。とはいえ、音楽と映像でそれぞれ特性が異なる部分もあると思うので、まずは音楽の方に集中してみてください。

自分が好きなバンドやグループについて、「なんでもっと有名にならないんだろう」ということを思ったことがあるので、ライブ以外でもそのような人たちが活躍できる場所があればいいのになということを考えました。音楽業界が衰退しないために、自分にできることをどんなに小さなことからでもいいので、具体的に考えていくことが大切ですね。

【Y・Kさん】

最近、公園にいても「ボール遊び禁止！」などの看板が以前より多くなっています。以前より子どもは遊びにくくなっているのではないかと思います。なぜなのでしょう？自分自身がより良い環境を増やすには何ができるのでしょうか？もしくは、そのために必要な人々の共生（良い質問をもらえましたね！）について何ができるか考えたいですか？引き続き、自分が何に対してアクションを起こせるのかの観点から考えてみてください。また、こういった環境において、社会や地域の課題は何でしょうか？他の誰にとって必要なことなのか？の視点も是非入れてみてください。

僕は運動ができる施設を新たに建てるという荒業を思いつきましたが、これは現実的ではないですね。今ある環境で「共生」という方向で考えるのが良さそうですね。近所の公園や広場などで球技などの激しいスポーツをすることが禁止されているのはどのような問題があるからでしょう？探ってみてください。他の人や団体で、運動できる環境を整える取り組みをしている例があれば、プロジェクトの参考になるかもしれませんね。

私も高校生の時、友達と気軽にキャッチボールをできる公園があればいいのになと思っていました。公園はみんなのための場所であるがゆえに、身近なものだけど深く考えてみると難しい問題も潜んでいるのかもしれないですね。道具の貸し出しにも目をつけていますね。貸し出すための道具をどのように調達するかということをも具体的に考えてみると、課題の設定に活かすことができるかもしれませんね。

【く さん】

コミュニケーション上達プログラム、面白そうですね。クラスみんなでチャレンジしてみるのはいかがでしょうか（例えば、3日間チャレンジ？とか）。まずは、コミュニケーションを助ける語彙力について考え、調べ始めても良いかもしれませんね。また、語彙の種類や表現、その他に人間関係を築くために必要なものは何でしょうか？例えば、非言語コミュニケーションもありますね。あ、今「人は話し方が9割」って本を思い出しました。

第3回課題の動画で、「言語化」ということを言いましたが、自分の頭のなかのものを相手に伝わるように適切な言葉を選んで話すって意外と難しいですよ。僕自身、大人になった今でも上手く伝えることが出来ずに、もどかしく感じる事がしばしばあります。個人的には、会話の場面で言いたいことを伝えきることは苦手ですが、文章を書くことは比較的できるように感じます。僕自身の語彙力は同じなのにこの差はどうして生じるのでしょうか？うまくコミュニケーションをとる方法が見つかったら、ぜひ教えてください！

上手なコミュニケーションというのが、どんなものかということをもう少し掘り下げていくと、実践したいものが明確になってくるかもしれませんよ。相手とコミュニケーションをしていて楽しいと感じるときやそうでないときを比べて、どのような違いがあるか、そしてその原因は何かということなどを考えてみてはどうでしょうか。

【ヤンおばさん さん】

スマホ、永遠の課題ですよ。日常の問題なので、興味関心があれば、良いテーマだと思います。このテーマについて「もっと〇〇になればいいな」ということはありますか？それを書き出してみてください。例えば、その中からもっとも重要な3つを選び、それぞれの社会の課題はどのようなものがあるか考えてみてください。便利である一方、一緒にうまく共存していく必要がありますよね。なぜ、ついついみてしまうのでしょうか？何か無意識に中毒になるものがあるのだろうか？、などと思ったりもします。

ついついスマホを見てしまうのは、多くの人が悩んでいると思います。ぜひ、解決のためにマイプロで頑張ってみてください！（もちろん、他に興味があることが出てきたらそちらに行ってもらってもかまいませんよ）無理なくスマホを見ないようにする工夫として、どのようなものが考えられるのでしょうか？

ついついスマホを見てしまう原因ってなんなのでしょう。自分の中でよくないと思いつつスマホを見てしまっている時間があるとしたとき、その状況に関して何らかの共通点はあるのでしょうか。自分が何をしているとき、あるいはしていないとき、どんな時間帯に、ついついスマホを見てしまうのか、またそのときスマホを使って何をしているのかということを考えてみてください。

【ささけん さん】

方法については、(また授業の中で紹介しますが)いろいろありますよ。今回は家の人もしくは友人と話してみることで気づいていないことに発見できましたよね?例えば、進路であれば、地域の大人や大学の人(オープンキャンパスにいけば可能ですよね)と話すことで、また違った角度からすすめられるのではないのでしょうか?アンケートやインタビューも、図書館やインターネットなどの手段に加えて考えてみてください。高1から考えたり、行動することでどのような利点や欠点があるかを発信できれば、他の人にとっても有益ではないでしょうか?

文理選択や履修登録、大学の学部リサーチなどなど、一年生から進路について考える機会は沢山ありますね。今の時点で高校卒業後の自分がどこで何をしているのか、はっきりと思い描けている人はそう多くないかもしれません。僕自身も高校生の頃はそうでしたが、なんとなくで進路を決めてしまったことを今になって後悔していたりします。大学生や社会人の人に、進路にまつわるエピソードを聞いてみると、進路について考えることがどのくらい必要かを考えるヒントが出てくるかもしれませんね。

まずは、早い段階から進路を考えることについて、メリットやデメリットをまとめてみてください。進路はすべての高校生にとって重要な問題ですから、学校の中でまだ話したことがない人にも意見を聞いてみると、新しい気づきがあるかもしれません。さらに、高校生だけでなく、色々な立場の人にその人がどのように進路と向き合っているかということを知っていてもよいかもしれません。進路を考えるということの中にも色々な段階があると思うので、それぞれの段階において重要なことはなにかということを考えてみるのも一つの手ではないでしょうか。

【K さん】

思っていることを言葉にするのは難しいですね。だからチャレンジしているのです。できなくて当たり前、自分を責めない。むしろこれが今回できなかったのが次は注意するなど、どんどんプラスに捉えたと良いと思います。with コロナ時代のスポーツ(運動)で考えることはタイムリーでやりやすいかもしれません。自分が何を実践できるのか、また、自分のこのテーマが他の誰にとって必要な情報かを含めてさらに考えてみてください。

「スポーツは利点しかないの?」←良い質問をもらいましたね。適度な運動をするようにとアナウンサーが言っていたとのことですが、どんな種類の運動をどのくらいやるのが適度な運動なのでしょう?運動やオリンピック、あるいは普段の生活に関連して、「もっと~だったらいいのにな」と思うようなことはありますか?

インターネットや本を使って情報を集めることと並行して自分にとってスポーツのよいところってどんなところかということを知りたいと具体的に考えてみてください。また、それはスポーツの種類によって違うのかということや、自分が特に好きなスポーツに特有のことがあるのかということを考えてみると新しい気づきがあるかもしれませんね。